

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年3月19日(2015.3.19)

【公開番号】特開2013-154592(P2013-154592A)

【公開日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【年通号数】公開・登録公報2013-043

【出願番号】特願2012-18353(P2012-18353)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 4 1 J 13/10 (2006.01)

B 6 5 H 5/38 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 J 13/10

B 6 5 H 5/38

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明のインクジェット記録装置は、記録媒体に記録を行なう記録ヘッドと、前記記録媒体の浮きを規制する浮き規制手段と、前記記録ヘッドと前記浮き規制手段を機械的に連動させて前記記録媒体の厚さ方向に移動させる移動手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

記録媒体に記録を行なう記録ヘッドと、

前記記録媒体の浮きを規制する浮き規制手段と、

前記記録ヘッドと前記浮き規制手段を機械的に連動させて前記記録媒体の厚さ方向に移動させる移動手段と、

を有することを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 2】

前記移動手段は、前記記録ヘッドが記録を行う記録媒体の厚さに応じて前記記録ヘッドと前記浮き規制手段を前記記録媒体の厚さ方向に移動させることを特徴とする請求項 1 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 3】

前記浮き規制手段は前記記録ヘッドが記録する位置に搬送される記録媒体の搬送方向と直交する幅方向の両側に設けられ、少なくとも一方の前記浮き規制手段は前記幅方向に移動可能であることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 4】

記録媒体の前記幅方向の大きさに応じて前記浮き規制手段の少なくとも一方を前記幅方向に移動させるための作用手段を備えることを特徴とする請求項 3 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 5】

記録媒体の前記幅方向の大きさを検出する用紙幅検出手段を有し、

前記作用手段は、前記用紙幅検出手段の検出結果に応じて前記浮き規制手段を前記幅方向に移動させることを特徴とする請求項 4 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 6】

前記浮き規制手段は、前記記録ヘッドの吐出口形成面と記録媒体の表面との間の距離を一定の範囲にするように、記録媒体の浮き上がりを規制することを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

【請求項 7】

前記移動手段は、前記記録ヘッドの吐出口形成面以外の部分で前記浮き規制手段と前記記録ヘッドとを機械的に連動させることを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。

【請求項 8】

記録媒体を前記記録ヘッドが記録する位置に搬送する搬送ベルトを有することを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれかに記載のインクジェット記録装置。